

分担金・拠出金の名称	常設仲裁裁判所(PCA)分担金	評価	B
拠出先の国際機関名	常設仲裁裁判所(PCA)		
国際機関の概要	常設仲裁裁判所(PCA)は国際紛争平和的処理条約(1899年・1907年)によって設立することが定められた100年以上の歴史を持つ国際機関である。外交上の手段によって処理することができない国際紛争を直ちにそして容易に付託することを目的とした仲裁システムを目指し、常時依頼することができる。また、手続きの公開・非公開を選択でき、調停委員の構成も合意によるところが大きい等、当事国の意思への配慮が見られる点が特徴的である。当裁判所は国際司法裁判所(ICJ)とは異なり常勤の裁判官がいる訳ではなく、各締約国が調停委員として任命した国別裁判官団が名簿に登録されて常備され、紛争が生じたときには、当事国の合意に基づいてこの名簿から選任される仲裁裁判官で裁判部が構成されている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:我が国の重要政策の一つである国際社会における「法の支配」への貢献を促進させる 活動指標:より広範で柔軟な制度の導入・職員の増強等による、常設仲裁裁判所への係属紛争数の近年の増加傾向		2000年代以降の常設裁判所の広報活動の強化、私人又は国際機関が一方当事者となる仲裁裁判の利用促進、扱い得る紛争の累計を広げるための各種選択規則の整備、事務局職員の待遇改善・増員等により、その利用が促進された。近年では、2014年に係属中の事件数は127にのぼる等の常設仲裁裁判所に対する関心の高さが伺え、国際社会における「法の支配」の重要性も高まっていることが推察される。	
(2) 成果目標:常設裁判所及び常設裁判所評議会等における意思決定における我が国のプレゼンス 活動指標:評議会における強い発言権を維持することにより、常設裁判所の適切な運営を管理・監査する		常設仲裁裁判所における分担金に関して我が国は米・英・独・及び仏と並ぶ最高の50単位を負担しており、我が国の分担金は常設仲裁裁判所の運営に多大なる貢献をしている。また、年に2回行われる評議会においても、その強い発言権を維持している。2008-2009年度予算について、当初の予定増額分を大幅に抑えることに成功した。更には、発展途上国を中心とした分担金未払問題についても毎回の評議会で言及し、その問題の解決に努めている。	
(3) 成果目標:常設仲裁裁判所専門分野等における影響力や組織・財政マネジメントへの影響力の確保 活動指標:毎年2回開催される、予算委員会・財務委員会・評議会において予算の作成・監査・運用を効率的に行う		常設仲裁裁判所は国際司法裁判所のように常勤の裁判官がいるわけではなく、各締約国が裁判官として任命した4名以下の国別裁判官団を名簿に登録することによって裁判官を常備確保している。そのような常設仲裁裁判所の専門分野においては、我が国からは常時最大数である4名の裁判官を任命することによって貢献している。また、組織・財政マネジメントに関しては、予算や組織運営が適切に行われるように対処しており、財務委員の増員等の人件費増大についても、財政面の適切な運営という観点から厳しく精査した。	
(4) 成果目標:常設裁判所における邦人の貢献を高める 活動指標:日本人裁判官の任命、日本人職員の採用を促進させる		国際法に通じた専門家である国別裁判官(最大4名)の枠を最大限利用し常時4名の裁判官を我が国から任用している。現在は安藤仁介京都大名誉教授、村瀬信也上智大名誉教授、当省OBからは小和田国際司法裁判所判事、柳井国際海洋法裁判所所長が国別裁判官を務めている。また、日本人の正規職員は採用されていないが、近年日本人フェローが派遣される等、日本人の貢献度は高まりつつある。	
2. PDCAサイクルの確保		常設仲裁裁判所では、以下のPDCAサイクルを確保している。 Plan: 予算委員会(全締約国により構成)・財務委員会のもと次年度の予算・会計が作成され、全締約国によって構成される評議会によって承認されている。 Do: 評議会によって承認された予算は付託された紛争処理手続や人件費に使用され、常時そして速やかに、当該紛争を処理することに努めている。 Check: 財務委員会による予算執行に関する監査が毎年度行われる。 Act:毎年度2回行われる評議会においては予算執行について議論され、前年度の問題等について締約国により協議される。	
担当課・室名	国際法局国際法課		